

この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。

令和5年12月末日 発行

やまびこ **No.271**

発行 公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会
 〒330-0062 埼玉県浦和区仲町2丁目14-6 ハウス第五仲町101
 TEL 048-833-0444 FAX 048-833-0400
 E-mail:saitama@teotunagu.jp
 ホームページ http://www.teotunagu.jp/

定価50円 (購読料は会費に含む)

「世界が平和でありますように…」

公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会 理事長 **高野 淑恵**

あけましておめでとーございます。本年もよろしくお願い申し上げます。年頭にあたり、平素よりご支援ご協力いただきありがとうございます。心より御礼申し上げます。よき一年となりますようご祈念申し上げます。

そして今年こそ、あちらこちらの戦火が終息することを願います。誰の命も失われてはなりません。戦火のもと、どれほど悲惨な状況になっているのだろうと思うと胸が傷みます。「世界に平和をー」などという何を大層な、と笑われるかもしれませんが、障害がある人や難病の人など、ただでさえ生きづらさを抱えて生きている人にとって、当たり前前の日常を戦火によって奪われることは生死に係わる問題です。ほとんど報道はされていませんが、悲惨な現実はいかに存在しているのです。

2009年5月にがん性リンパ

管症で亡くなったロック歌手、忌野清志郎さんは、生前「何を望んでいますか？」と聞かれると、迷うことなく「世界平和です！」と答えていました。インタビュアーも周りの人たちも、(またそんな冗句を!)くらいに受けとってみんな笑っていました。清志郎さんは本気で世界平和を願っていたのだと、清志郎さんをよく知る人たちは一様にそう語っていました。奇抜なファッションやメイクにはかり目を引かれますが、人の本質は決して外見からでは分かりません。清志郎さんはとても優しく、とてもシャイな人、そしてものすごく他者を思いやる人だったそうです。ちょっとハスキーな声で、華奢な身体いっぱいシャウトする清志郎さんのステージが私は大好きでした。

「他者を思いやる」ということはとても難しいことです。たまたま生まれてきた子どもに障害があったので、いささか流れに身を任せるとかの如く育成会に入り、この長い年月を過ごしてきましたが、自分にはほかの人のことを果たしてどれくらい思いやる事ができたろうと、眠れない夜の静寂の中でぼんやり考えたりします。遠く離れた戦火の地で、今この時も助けを求めている人たちがなぜ救えないのか、あの世界大戦から人は何も

学ばなかったのでしょうか。旧優生保護法や津久井やまゆり園事件のように、障害を理由に人が人を差別し、個人の権利を侵害する負の歴史は後を絶ちません。過ちを真摯に受けとめ、自省と自浄によって、笑い話ではない「世界平和」を指向していくことが大切であると思います。

埼玉県育成会は、知的障害の人の権利を護り、幸せな人生を全うしてほしいという思いから、「法人後見」を行っていますが、被後見人も六〇代くらいになると、健康者同様に様々な病気になります。医療は進歩していても、知的障害の人は自らの言葉で症状を伝えることができず、医師の説明に同意もできないことから、適切な医療を受けられません。

昨年、白血病で亡くなった方も、病気を治すための治療をほとんど受けられずに亡くなりました。親類はいても高齢や遠方であること、理由に、葬儀には来てもらえませんでした。施設の人と事務局長と私で彼女を見送りました。

医療の問題はこれからもっと深刻になります。後見制度に多くの問題点があるのは事実ですが、その前に、どうしたら知的障害者が適切な医療を受けられるようになるか、たくさんの人に考えてほしいと切に願うばかりです。

二〇二三年十二月末日発行(二七一号)

本人のつどい **レクリエーション「カーレット」**

狭山手をつなぐ親の会 佐藤 眞砂子

今回、本人のつどいでは話合いは無しで、レクリエーションだけをやることになりました。委員会で「障害があってもなくても子供も高齢者も誰でも一緒にできるカーレット」というユニバーサルスポーツの話をしたところ、「それはおもしろそうやってみよう!」ということになり、狭山カーレットクラブまでこせがお手伝いすることになりました。

体験会の参加希望者はどんどん増えて、本人が55名付添10名と、応援が狭山から10名。総勢75名以上となり、当日はにぎやかに真剣に、皆さんカーレットを愉しんでいるように思えました。



参加者の感想

●レクリエーションで、カーレットというカーリングみたいなゲームに参加しました。私たちはバンダチームでした。初めはうまく投げられませんでした。なれてきたら丸の中に入るようになり楽しくなりました。また参加した上尾手をつなぐ親の会 **小林 可南**

みんなの声

- やり方がすぐわかった。
- みんなもできた
- 台から落ちないようになってる。
- やっているところがよく見える。
- そんなに力もいれず滑らせることができる。
- やさしく教えてくれた。
- 勝ちも負けもわかりやすく楽しい。
- ポッチャみたい。
- つかれを感じなかった。
- こんな繋がり初めて!繋がりっているっていいな。
- またやりたい。

未来あんしんサポート NEW 2022年1月、「定期支払金付プラン」が新登場 「つかえる楽しみ」と「こせる安心」をお届けします

【知的障がい】や【自閉症】等の障がいのあるお子さまのために「親なきあと」をサポートするご提案です

未来あんしんサポート

障がいのあるこの子が お金の管理をできるか心配... この子が経済的に 困らないようにしてあげたい。 自分がまだ元気なうちは、毎年うけとる お金を使ってこの子と一緒に楽しみたい

「生命保険」と「信託」が「親御さまの想い」を 確実に未来へのこします

お問合せや資料のご請求はこちらへ 未来あんしんサポートに関するお問い合わせ ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル **0120-580-503** 通話料 無料 受付時間:月~金(祝日・年末年始を除く)9:00~17:00

【未来あんしんサポート】は、(株)ジェイアイシーがご提案する生命保険と生命保険信託をあわせたサービスの総称です。

●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポート リーフレット」をご覧ください。●株ジェイアイシーは「個人情報保護方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、株ジェイアイシーのホームページにてご確認ください。●当資料は、2022年1月1日時点のお取扱い内容に基づき作成しています。

【生命保険募集代理店・信託契約代理店】 **株式会社ジェイアイシー** 本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビル2号館2F ホームページ www.jicgroup.co.jp

【所属信託会社】 **みずほ信託銀行株式会社**

【生命保険引受保険会社】 **第一フロンティア生命保険株式会社**

MAS-A-220103

表彰式



感謝状



表彰状(本人)

表彰状(推薦)

ご来賓



ご来賓の皆様ありがとうございました。

体験発表



古川ゆりさん

アピール朗読



所沢手をつなく親の会のみなさん



講師 又村 あおい 氏
一社) 全国手をつなく育成会 常任理事兼事務局長



県大会に参加して

上尾手をつなく親の会 齊藤 玲子

10/1ウエスタ川越にて、第58回県大会が開催されました。上尾親の会からは親17名、本人5名の参加がありました。障害福祉課の栗原副主幹にバスの用意とご同行を頂きました。

午前は体験発表・表彰式・アピール文朗読がありました。午後は記念講演が行われ、講師として又村あおい氏を迎え「みんなちがってみんないい」～多様性の中の意思決定支援～というテーマでした。

平成18年に国連で採択された「障害者権利条約」では、障害のある人をひとりの人間として、人類(尊厳)の尊重を求めています。障害が重いほど、その人の意見を軽んじて、まわりの思い込みや、都合、成年後見人の意見などで決められる事があるそうです。しかし「意見のない人はいない」親は「この子はこれを選ぶはず」と思っている、子どもも色々経験・選択を重ねると、変わってくる事があるそうです。一度選択し体験したからといって、また次も同じ選択をするとは限りません。合っていたかもしれないし、合わなかったかもしれません。健常者でもそれは同じです。

大事なことは「体験・決定する経験」「必要な情報と理解」「決定した意見の表出・実行」だそうです。

親なき後の重大な決定(入所・グループホームの利用・遺産管理など)の為にも、ひとつひとつの体験や意見決定・試行錯誤の繰り返しを長い目で見守り、子どもと一緒に考えて行こうと思いました。

当日は、県内各地から 総勢**250名**の参加をいただきました！

第58回埼玉県手をつなく育成会県大会

みんなちがってみんないい

～多様性の中の意思決定支援～

令和5年10月1日(日) ウエスタ川越



県大会を終えて

理事長 高野 淑恵

第58回埼玉県手をつなく育成会県大会が川越で行われました。昨年は3年ぶりで久喜市栗橋での大会が無事に終わり、会員の皆さまとも3年ぶりに会うことができ、実際に顔を合わせることがこんなにも心弾むものなのだ改めて思うことができました。

今年度の川越大会も、西部ブロック担当の高田副理事長はじめ遠藤実行委員長や西部ブロックのみなさまのおかげで楽しい大会となりました。

全育連又村あおい様、いつもながら素晴らしい講演をありがとうございました。本人のつどいのカーレットも盛大に盛り上げていました。本人たちの楽しそうな顔がとても嬉しかったです。本大会のテーマ「みんなちがって、みんないい」という言葉は、みなさまご存じのように金子みすゞの詩の一節です。彼女は、心がほっこりするような、やさしいやさしいことを紡ぐ人ですが、現実の彼女はとても苦しく辛い人生でした。多様性から生まれるやさしさ愛しさを誰よりも感じ取れる彼女は、彼女自身の多様性は一切認められない時代に生まれました。そのために辛い辛い人生を強いられ、僅か26年で自らの人生を終わらせてしまいました。

金子みすゞ没後100年を経た今も、多様性は誰にでも認められているとは言えません。多様性を認め合う社会を作っていきましょう。それが育成会活動の使命でもあり原点です。川越大会で、この原点をみなさまと共に見つめあえていたら嬉しいですね。

実行委員長 遠藤 政子

コロナ禍で実施できなかった県大会も昨年より復活し、本年は県西部ブロックが担当者となり私が活動している川越市での開催となりました。当日は県内各地より多くの皆様にご参加をいただき、本人達の元気な明るい声に励まされた思いになりました。

今回は「みんなちがって みんないい」～多様性の中の意思決定支援～をテーマに式典を開会し、感謝状・表彰状の授与に続き、本人による体験発表では、自分の思いや素直な物事に対応する姿に胸が熱くなりました。そして、アピール文の朗読を所沢の会の皆さんが親子で力強い宣言をしてくださりました。

午後は本人のつどいと又村氏のご講演が開催され、レクリエーションとしてカーレットで総勢60名の本人達が、狭山カーレット倶楽部のご指導のもとたのしい時間を過ごしました。楽しかった！もっとしたい！などのたくさんの感想をいただきました。

本人のつどいの支援者の皆様には準備、進行、片付けも機敏に動いてくださり参加者は大満足で大成功でした。講演会では、親たちにとっても我が子の幸せな人生を願い、重い障害があっても意思や思いや気持ちがある。そして自分のことは自分で決めることができる可能性を秘めているなど、わかりやすい内容でした。

「意思決定支援」は日常の中で本人に寄り添い支援することが大事と感じ、会場の皆様も良い講演と、今後の活動に生かしたいとお声をいただきました。

ご来賓、顧問、参与の皆様、奨励のお言葉ありがとうございました。そして共に知恵を出し合い力を貸して下さった、川越障害福祉課、育成会三役、事務局、西部ブロック実行委員会の皆様、川越育成会の皆様には暑い中、何度も参集くださり心から感謝申し上げます。これからもつないだ手を離さず共にすすんでいきましょう。

手をつなぐがん保険

一般社団法人 全国手をつなく育成会連合会の 会員の皆様へ

障がいのある方とご家族をワイドにお守りする保険です

なぜ障がいのある息子はがん保険に加入できないのでしょうか?

久保会長とぜんち共済社長の根本が「手をつなぐがん保険」に対する思いを対談形式で語っています。また、又村事務局長による加入方法のご案内もあります。動画を是非ご覧ください。

動画はこちら <https://youtu.be/MU8w5t8yk>

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は下記お問い合わせ先(取扱代理店)に資料請求をお待ちしております。

【代理店】ぜんち共済株式会社
〒102-0073 東京都千代田区入船3-3-5 丸屋B202C/A-4層
TEL: 03-4910-0850 / FAX: 03-4910-0851
URL: <http://www.zenchikyoji.com>
MAIL: gan@zenchikyoji.com
(営業時間 平日9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く))

たった1分 スマホでカンタン資料請求
※2022年10月1日よりサービス開始

特長1 代理手続き 代理告知が可能
障がいのある方向けプラン

特長2 告知対象 疾患の緩和
障がいのある方向けプラン

特長3 「親なきあと」に備える補償
障がいのある方のご家族向けプラン

この広告には「手をつなぐがん保険」の概要を記載していますが、ご加入にあたっては必ず「がん保険」の募集要項を御覧いただき、よくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体健康保険のヘルプカードです。ご不明な点がございましたら、代理店までお問い合わせください。

2022年9月作成 22-TC00035